

問1 5世紀後半のものとされる埼玉県稲荷山古墳出土の鉄剣や、熊本県江田船山古墳出土の鉄刀には、「ワカタケル大王」という名が刻まれています。この事実から推測される当時のヤマト政権の様子について、最も適切な説明はどれですか。（2026年 和歌山公立

入試 類似）

- |                                 |                                   |                                  |                                       |
|---------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 大王の支配力が、関東地方から九州北部まで広範囲に及んでい | 2. 大王は奈良盆地周辺のみを治める、限定的な勢力に留まっていた。 | 3. 各地の豪族が大王の許可なく、独自に大陸と外交を行っていた。 | 4. 大王の地位は固定されておらず、各地の豪族が交代でその任に就いていた。 |
|---------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|---------------------------------------|

問2 5世紀、ヤマト王権の「倭の五王」は中国の南朝（宋など）に繰り返し使者を送りました。中国側の歴史書『宋書』倭国伝に記されている、彼らが朝貢を通じて中国皇帝に認めてもらおうとした地位や権限とはどのようなものですか。（2025年 沖縄公立入試 類

似）

- |                                  |                       |                              |                                  |
|----------------------------------|-----------------------|------------------------------|----------------------------------|
| 1. 日本国内の支配権に加え、朝鮮半島南部における軍事的な指揮権 | 2. 遣隋使の派遣を永続的に免除される特権 | 3. 明との間で勘合を用いた貿易を行うための独占的な権利 | 4. 鎖国体制を維持するために、他国との国交を断絶する公式な許可 |
|----------------------------------|-----------------------|------------------------------|----------------------------------|

問3 古墳時代に見られる、上から見ると鍵穴のような形（一方が四角く、一方が丸い）をした古墳の特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。（2021年 鹿児島県公立入試 類似）

- |  |  |                                       |                                      |
|--|--|---------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 近畿地方を本拠とする大和政権の拡大に伴い、各地の首長に受け入れられた形式である | 2. 弥生時代に中国大陸から伝わった形式であり、主に北九州地方で多く見られる | 3. 聖徳太子による冠位十二階の制定と同時に、身分を示す墓として推奨された | 4. 鎌倉時代に幕府の許可を得た武士のみが、自分の領地に築くことができた |
|--|--|---------------------------------------|--------------------------------------|

問4 5世紀の倭の王が、中国の歴史書である『宋書』倭国伝において「高句麗が道をふさぎ、邪魔をしています」と皇帝に訴え、「安東大將軍」などの高い称号を得ようとした主な目的として最も適切なものはどれですか。（2025年 埼玉県公立入試 類似）

- |   |  |  |  |
|---|--|--|--|
| 1. 朝鮮半島における軍事的な指揮権を中国の皇帝に認めさせ、国際的な優位に立つため | 2. 中国から金銅の仏像を輸入し、日本国内に仏教を広めるための権威を得るため | 3. 朝鮮半島南部から鉄資源を安定的に輸入するための、独占的な貿易許可を得るため | 4. 中国の律令制度を導入し、氏族制度を廃止して国内の中央集権化を進めるため |
|---|--|--|--|

問5 大阪府堺市に位置する大仙古墳（仁徳天皇陵古墳）が属しており、周辺の古墳とともに2019年に世界文化遺産に登録された古墳群の名称として正しいものはどれか。（2020年 三重公立入試 類似）

- |            |            |              |          |
|------------|------------|--------------|----------|
| 1. 吉野ヶ里遺跡群 | 2. 三内丸山遺跡群 | 3. 百舌鳥・古市古墳群 | 4. 登呂遺跡群 |
|------------|------------|--------------|----------|

問6 5世紀の古墳から出土する、甲冑（よろい・かぶと）を身にまとい、背中に矢を背負った武人の姿を模した土製品について、当時の社会状況を踏まえた説明として最も適切なものはどれですか。（2026年 群馬公立入試 類似）

- |  |  |  |                                       |
|--|--|--|---------------------------------------|
| 1. 人物埴輪と呼ばれ、当時の緊迫した東アジア情勢を反映した軍事文化を伝えている | 2. 弥生土器と呼ばれ、大陸から伝わった金属器の使用方法を儀礼的に示している | 3. 唐から伝来した仏教儀礼に基づき、寺院の門に配置される守護神を表している | 4. 七支刀と呼ばれ、百済の王から贈られた最新の鉄製武器の威力を示している |
|--|--|--|---------------------------------------|

問7 4世紀から7世紀頃、多くの人々が大陸から日本列島へ移住した歴史的背景と、その後の影響についての説明として最も適切なものはどれですか。（2021年 島根公立入試 類似）

- |  |  |   |   |
|--|--|---|---|
| 1. 朝鮮半島の動乱を逃れた人々や、大陸の先進技術を必要とした大和政権に招かれた人々が、漢字や仏教などを伝えた。 | 2. シルクロードを経由した東西貿易を活発にするため、唐の皇帝が日本の平安京へ大規模な商人の集団を派遣した。 | 3. モンゴル帝国の侵攻に対抗するため、日本列島から朝鮮半島へ軍事技術を持った集団が移住し、防御を固めた。 | 4. 律令制度を確立した日本が、地方の豪族を管理するために大陸から役人を大量に雇用し、全国各地に配置した。 |
|--|--|---|---|

問8 3世紀後半から6世紀にかけて、北は東北地方から南は九州地方まで、日本列島の広範囲にわたって鍵穴のような独特な形をした巨大な墓が築造されました。このような墓が各地に共通して造られた背景として、当時の政治状況を説明したのものとして最も適切なものはどれですか。（2026年 沖縄公立入試 類似）

- |  |   |   |  |
|--|---|---|--|
| 1. ヤマト王権に従った各地の豪族が、王権との結びつきを周囲に示すとともに、自らの権力を誇示するために築造を認められた。 | 2. 大陸から渡来した人々が、最新の土木技術を日本各地の民衆に広めるための記念碑として、公共事業の一環で築造した。 | 3. 大和地方の人口が急激に増加したため、有力な豪族が新天地を求めて東北や九州へ集団移住した際の住居の跡地である。 | 4. 仏教の伝来とともに、日本全国の豪族が共通の宗教儀礼を行うための寺院の土台として、同じ形状で設計された。 |
|--|---|---|--|

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 大王の支配力が、関東地方から九州北部まで広範囲に及んでいた。	遠く離れた埼玉と熊本の両地域から同じ大王の名が記された遺物が出土したことは、5世紀後半までにヤマト政権の勢力（大王の権威）が関東から九州北部にまで拡大し、各地の豪族を服属させていたことを裏付ける重要な証拠となっています。
問2	<b>答え 1</b> 日本国内の支配権に加え、朝鮮半島南部における軍事的な指揮権	5世紀になると、ヤマト王権の王たちは「倭の五王（讚・珍・濟・興・武）」として中国の南朝に朝貢しました。彼らの主な目的は、日本国内の統一的な支配権を国際的に認めさせることだけでなく、当時進出を図っていた朝鮮半島南部における外交・軍事的な優位性を確保し、その立場を中国皇帝に正当化してもらうことにありました。
問3	<b>答え 1</b> 近畿地方を本拠とする大和政権の拡大に伴い、各地の首長に受け入れられた形式である	前方後円墳は3世紀後半から造られ始め、大和政権（ヤマト王権）の拡大とともに全国へ普及しました。大阪府にある大山古墳（伝・仁徳天皇陵）のように世界最大級の規模を持つものもあり、これは当時の王の権力の強大さを物語っています。
問4	<b>答え 1</b> 朝鮮半島における軍事的な指揮権を中国の皇帝に認めさせ、国際的な優位に立つため	5世紀、いわゆる「倭の五王」は中国の南朝（宋など）に使者を送り、皇帝から「將軍号」などの称号を授けられました。これは国内での支配権を固めるだけでなく、当時対立していた高句麗に対抗するため、朝鮮半島における軍事的な指揮権を国際的に認めさせ、外交上の軍事的優位を確保する狙いがありました。
問5	<b>答え 3</b> 百舌鳥・古市古墳群	大仙古墳は、大阪府堺市の「百舌鳥（もず）古墳群」を代表する古墳です。隣接する羽曳野市・藤井寺市の「古市（ふるいち）古墳群」とともに、古代日本の国家形成過程や階層社会を象徴する物証として評価され、「百舌鳥・古市古墳群 —古代日本の墳墓群—」として世界文化遺産に登録されました。
問6	<b>答え 1</b> 人物埴輪と呼ばれ、当時の緊迫した東アジア情勢を反映した軍事文化を伝えている	古墳時代中期にあたる5世紀には、高句麗の南下による朝鮮半島の緊張状態が倭（日本）にも波及していました。古墳に副葬された武人などの人物埴輪は、当時の武具の構造を正確に伝えており、埋葬された豪族の軍事的な権威を誇示したり、死者の霊を守ったりする目的があったと考えられています。
問7	<b>答え 1</b> 朝鮮半島の動乱を逃れた人々や、大陸の先進技術を必要とした大和政権に招かれた人々が、漢字や仏教などを伝えた。	当時の朝鮮半島は高句麗・百濟・新羅が勢力を争う激動期にありました。戦乱を避ける目的や、高度な文化・技術を吸収したい大和政権の要請によって移住が促進され、伝えられた文化は後の飛鳥文化などの発展に大きく寄与しました。
問8	<b>答え 1</b> ヤマト王権に従った各地の豪族が、王権との結びつきを周囲に示すとともに、自らの権力を誇示するために築造を認められた。	前方後円墳という特定の形状が日本各地に広がった事実は、当時のヤマト王権を中心とした政治的な連合が広範囲に及んでいたことを示しています。各地の有力な豪族は、ヤマト王権の支配体制に組み込まれることで、その象徴である前方後円墳を築く許可を得て、自身の支配権を正当化しました。渡来人の技術は築造に関わっていますが、目的は公共事業ではありません。また、古墳は住居ではなく墓であり、仏教伝来以前の文化です。